

みどりの学術賞 受賞記念講演会のお知らせ

平成27年7月12日（日）13：30～16：30

日本科学未来館 未来館ホール（入場無料）

東京都江東区青海 2-3-6 （裏面の案内図をご覧ください）

主催：内閣府（みどりの学術賞及び式典担当室）

共催：日本科学未来館

プログラム

- 13：00 開場
13：30 開会（主催者・共催者挨拶ほか）
- 14：00 受賞者講演 「日本庭園と環境問題」（進士五十八 博士）
ディスカッション（進行：みどりの科学コミュニケーター）
- 受賞者講演 「葉はなぜ緑色なのか」（寺島一郎 博士）
ディスカッション（進行：みどりの科学コミュニケーター）
- 16：15 日本科学未来館における「みどりの学術賞」に関わる今後の活動について
- 16：30 閉会

「みどりの学術賞」は、「みどりの日」についての国民の関心と理解を一層促進し、「みどり」についての国民の造詣を深めることを目的に、平成18年の閣議決定で創設され、今年で9年目を迎えました。

このたび、内閣府の主催としては初めて、日本科学未来館との共催により、平成27年（第9回）みどりの学術賞受賞者による受賞記念講演会を開催します。

植物、森林、緑地、造園、自然保護など、「みどり」に関わる幅広い学術分野にご関心をお持ちの研究者、学生、一般市民の皆様のご参加をお待ちしています。

【申込み】 席に限りがありますので、必ずFAXで7月6日（月）までにお申込み下さい。

- 記載事項 ① 代表者氏名、所属団体名、電話及びFAX番号
② 代表者以外の参加者の氏名、所属
また、「みどり講演会申込み」と記載してください。

FAX送信先 03（3502）2887

進士 五十八（しんじ いそや） 東京農業大学名誉教授



日本庭園について、哲学や歴史等に着目した従来の人文科学的なアプローチではなく、自然科学的手法を用い、膨大なデータを分析し、その特質を解明した。その結果、日本庭園が、日常生活から隔離された特殊な空間ではなく、農業技術を基礎とし、また自然との共生により育まれてきたわが国の生活・文化、すなわち「農の風景」が凝縮されたものであることを明らかにした。この成果を踏まえ、景観の保全・育成や都市農業の復権に向けた市民活動の重要性を説き、今日、全国各地で見られる市民農園や里山ボランティア等の底流を形作るなど、みどりに対する国民の理解増進に大きく寄与した。

寺島 一郎（てらしま いちろう） 東京大学大学院理学系研究科教授



植物群落における太陽光の利用というマクロスケールの生態学を、個々の葉内での光利用というミクロな生態学へと発展させた。葉の内部構造と光合成との関係を詳しく調べ、1枚の葉の中でも表面の葉緑体は強い光、裏面の葉緑体は弱い光を利用するのに適した性質をもち、葉全体の光合成の効率上昇に寄与していることを明らかにし、葉緑体分化の謎を解明した。また、大気中のCO₂濃度の上昇が植物の生理・生態に及ぼす影響の解明にも成果を挙げると、植物生態学をはじめとする幅広い分野の学術の発展に大いに貢献し、みどりに対する国民の理解増進に寄与した。

みどりの科学コミュニケーターをよろしくお願いします

内閣府（みどりの学術賞及び式典担当室）では、日本科学未来館の科学コミュニケーター3名を「みどりの科学コミュニケーター」に任命しました。今回の講演会をはじめ各種イベントやウェブサイトなどで「みどり」に関する情報発信の活動を行っています。



【会場アクセス】

- 新交通ゆりかもめ
「船の科学館駅」下車 徒歩約5分
「テレコムセンター駅」下車 徒歩約4分
- 東京臨海高速鉄道りんかい線
「東京テレポート駅」下車 徒歩約15分
- その他（無料巡回バス「東京ベイシャトル」、路線バス、自家用車＜有料駐車場あり＞）
→ 日本科学未来館ホームページをご覧ください。
<http://www.miraikan.jst.go.jp/guide/route/>

お問い合わせ

内閣府 みどりの学術賞及び式典担当室 【兼 林野庁山村振興・緑化推進室】
電話：03（3502）8243 FAX：03（3502）2887（担当：今泉、佐藤、石塚）
みどりの学術賞ホームページ <http://www.cao.go.jp/midorisho/>